



可笑記

^ 13
74
5 上



可笑記

五

曾
74
5

15
74
5

可笑記巻第六

〇ひりきふ人乃りつる。新田左中将義貞の作。此は
 たる事。さてより老法師乃りか。りりり。大将とて
 小僧へ。さうり。され。八時。意。の。禍。は。運。は。倒。て。道。れ
 や。さ。く。万。民。乃。悲。想。を。以。て。禍。は。天。皇。乃。以。て。人。乃。乃。全。の
 か。さ。く。人。の。恨。中。く。む。天。皇。乃。以。て。人。乃。乃。さ。つ。さ
 志。く。む。百。の。さ。を。さ。め。く。と。給。ふ。され。万。民。乃。乃。終。く。形
 ら。氏。敵。を。悔。く。は。く。む。侍。の。習。い。あ。く。恨。ま。く。は。い
 思。東。の。思。と。接。て。わ。る。は。清。情。あ。り。何。の。心。法。乃。迷。懷。を。正
 思。れて。一。念。乃。乃。さ。れ。い。さ。ら。の。侍。乃。乃。さ。く。思。く。あ
 人。情。を。け。礼。と。厚。貴。歌。を。べ。く。毎。用。の。以。善。詞。乃。乃。礼

曾 5
難 4
巻 5

可笑記

とらべし。これいぬやうの虫乃こが病しく。物ふりついで
後まはさるるもの成りかたなりけり。なほ何れもいふも
とわらへ。ましかし。ぬがらぬ。乃これ何れいふ。斗
まわし。身をもろく。誠ふあも。もろく。あつたじつに
侍事より積してまはれ

○昔かゝ圃小道掛してつる。こころに侍あり。げち。後馬ぞり
して。あまこ。飼う。こころ。又。鶴の。玉。こころ。に。おて
ま。く。の。ら。あ。ろ。人。乃。つ。る。い。海。に。は。く。の。は。つ。る。も。ろ。く。
そ。れ。給。ゆ。お。家。め。の。合。ぬ。る。り。お。し。や。れ。げ。侍。者。
回。我。の。是。も。ろ。く。乃。わ。ら。る。白。い。ま。も。い。て。金。も。お。
い。く。あ。ら。ひ。し。つ。つ。わ。ら。ぬ。お。家。乃。乃。あ。つ。て。ま。ろ。く。物
が。白。い。ま。の。お。成。り。も。ま。ろ。く。い。る。お。成。り。あ。ら。ひ。の。ま。

思ひて。合平。乃。ま。ろ。く。は。え。れ。乃。ま。ろ。く。の。ま。ろ。く。も。ろ。く。也

○昔より人乃まろく。え。ま。ろ。く。お。家。合。此。ま。ろ。く。な。ら。の。
申は。い。何。も。い。う。欲。あ。つ。て。中。は。ま。ろ。く。事。又。ま。ろ。く。
造。心。と。は。い。て。作。造。心。と。い。て。物。を。習。う。る。も。ろ。く。又。ま。ろ。く。
根。氣。乃。つ。り。あ。り。ま。ろ。く。連。懐。ま。ろ。く。も。ろ。く。又。何。も。ま。ろ。く。習。
ま。ろ。く。して。後。あ。つ。ま。ろ。く。も。ろ。く。ま。ろ。く。操。心。ま。ろ。く。皆。ま。ろ。く。ま。ろ。く。
ま。ろ。く。又。合。平。ま。ろ。く。ま。ろ。く。に。持。ま。ろ。く。ま。ろ。く。ま。ろ。く。ま。ろ。く。
ま。ろ。く。又。由。乃。ま。ろ。く。に。お。の。掛。持。ま。ろ。く。ま。ろ。く。お。成。り。ま。ろ。く。連。懐。
ま。ろ。く。ま。ろ。く。に。お。つ。ま。ろ。く。皆。ま。ろ。く。人。乃。身。一。乃。其。形。ま。ろ。く。ま。ろ。く。
ま。ろ。く。其。實。乃。ま。ろ。く。い。ま。ろ。く。別。あ。り。ま。ろ。く。ま。ろ。く。ま。ろ。く。ま。ろ。く。ま。ろ。く。
○昔より人のまろく。あ。ら。い。一。時。小。振。也。ま。ろ。く。ま。ろ。く。ま。ろ。く。つ。ま。ろ。く。
ま。ろ。く。ま。ろ。く。振。也。ま。ろ。く。乃。ま。ろ。く。ま。ろ。く。振。也。ま。ろ。く。乃。振。也。

乃子孫方のもたひひいて。がらな替りかまて也。この
かどに薄き宗日蓮宗一箇宗乃坊主をして世に受け
けふ。といふもをまれば法儀なれども。世にわすれぬ。武吉の
子孫出でて。なり。いづれ子孫わたりんといひた。云。武吉の
お事。宗。替りて。いづれ。乃。い。よ。佐。小。何。う。し。人。下。し。氣。ま
く。や。に。し。て。い。き。だ。う。普。人。ま。ま。さ。れ。た。の。つ。つ。の。福。
割。綴。法。法。文。章。そ。お。義。乃。よ。た。ら。り。の。心。内。の。よ。た。ら。り。
七八。つ。て。悪。く。の。つ。つ。乃。又。町。人。百。種。ぐ。ら。ん。生。れ。て。り。
下。佐。小。か。こ。ま。つ。て。人。法。教。い。そ。氣。は。て。か。く。い。り。て。
悪。人。法。教。と。す。ま。い。よ。の。つ。つ。利。お。と。一。里。歌。は。極。ま。る。
ま。み。い。い。て。十九。回。は。れ。の。ハ。こ。ま。ま。の。つ。て。悪。く。
ハ。ハ。九。ふ。こ。り。但。も。家。武。家。乃。他。悪。歌。人。ま。い。い。り。た。百。

性町人なり。乃思歌乃人か増々。一。湮。集。巻。に。日。我。滅。一
て。後。飢。る。え。乃。か。い。お。亦。受。戒。乃。志。ま。う。人。一。と。現。法。か。こ
種。あり。と。か。れ。れ。た。也。い。い。一。一。
○。む。一。中。細。言。喉。房。い。い。つ。人。後。強。敵。も。皇。に。仗。給。り。か
け。亦。通。送。ある。に。あ。い。く。れ。い。終。く。乃。轉。成。り。上。の。由。く。の
は。美。く。な。は。し。く。く。れ。も。教。く。は。形。列。か。く。結。句。無。送。ある
に。起。る。せ。も。好。給。ら。る。べ。か。乃。中。と。も。か。く。と。思。ひ。え。い。め。
ある。教。は。亦。あ。ら。り。唐。乃。勢。遠。比。平。伯。夷。叔。武。の。い。あ。一。ハ
る。い。も。も。す。ま。ぐ。れ。物。法。甲。て。衆。を。い。い。あ。り。れ。も。法。限。り
と。只。い。り。内。裏。を。お。ら。れ。給。り。大。肉。山。乃。月。影。も。法。も。か。い。
影。が。り。ら。ら。ら。ら。ら。ら。ら。ら。乃。い。ま。つ。つ。と。さ。ふ。い。
立。入。る。と。房。法。戒。作。り。て。出。衆。を。給。り。高。山。と。い。は。し。り。

言乃意おまほしくいひおきりとりて出仕忠功乃人々海あこ
 物ふりしらしくお綴もたれあがまふいさ乃くしそり。彼
 友はいつたそく思ひいへるの家は老お人乃事なり
 さねい主老としてほけ業くはんさくすまかひのこ
 利欲ふおけりる終りひた人乃善悪は月くひ終りる
 聲は氣ふ入るは乃くしよる終るは人終るは乃く
 不乃やひしとそりしと老お人々終るは乃く
 出頭人々も又いひまひ同終るは終るは乃く
 通乃をたはひいひしと終るは乃くしと終るは乃く
 らしそりまひの終るは乃くしと終るは乃く
 しと終るは乃くしと終るは乃くしと終るは乃く
 終るは乃くしと終るは乃くしと終るは乃く

か別み入る事にはわ

ひしそり人乃らりいさ人乃彼乃終るは乃く
 里付なり。一川の橋はあまは乃く。取をさくし乃
 橋はあまは乃く。目とぬく。一川の橋はあまは乃く
 川て。は乃く。あまは乃く。あまは乃く。あまは乃く
 ちまは乃く。あまは乃く。あまは乃く。あまは乃く
 人小は乃く。あまは乃く。あまは乃く。あまは乃く
 人あて。あまは乃く。あまは乃く。あまは乃く。あまは乃く
 らさるしものんは乃く。あまは乃く。あまは乃く。あまは乃く
 てまは乃く。あまは乃く。あまは乃く。あまは乃く
 あまは乃く。あまは乃く。あまは乃く。あまは乃く
 にまは乃く。あまは乃く。あまは乃く。あまは乃く

くは...の...
ふは...
古...
乃...
の...
正...
何...
三...
い...
懐...
に...
ら...
形...
そ...
何...
る...
ふ...
孫...
て...
ひ...
の...
結...
好...
持...
持...

形...
そ...
何...
る...
ふ...
孫...
て...
ひ...
の...
結...
好...
持...
持...

を子細に面いしめ殺さうかし。そははきいも。又回相
を推家さるあり。風さくも。或はやまとも。又或はつりが
えはるあり。そか水火うて。義物にすられた。又義物
をせめり。事あり。うて。工更思案あり。べし

○ひうさる人乃さる人乃このくせ。いも。抱あり。いも。里朝
る。く。は。れ。は。白。居。易。と。さ。る。唐。經。の。詩。人。も。人。皆。一。條
あり。我。癡。章。句。に。あり。と。は。さ。る。又。我。國。乃。新。人。大。傍。也。
意。法。の。書。の。あ。い。も

○余らる人乃さる人乃。抱あり。れ。い。も。ゆ。せ。さ。さ。う。ゆ。ら。る。
者。か。く。乃。と。く。佛。道。儒。乃。さ。さ。ら。ゆ。て。も。控。控。く。は。さ。の
く。せ。さ。さ。は。わ。は。ら。せ。も。く。せ。は。さ。ら。る。も。別。さ。る。一
○昔さる人乃さる人乃。抱あり。れ。い。も。ゆ。せ。さ。さ。う。ゆ。ら。る。
り。て。お。じ。へ。一。さ。ら。る。は。語。あり。語。あり。れ。賢。人。と。さ
者。乃。人。と。さ。る。人。乃。賢。人。乃。さ。る。一。さ。ら。る。○求。せ
る。求。じ。へ。一。又。盗。人。乃。さ。る。○求。ん。ま。盗。人。と。さ。る。一。ひ。よ
せ。く。求。じ。へ。一。常。乃。人。乃。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一
○ひ。う。さ。る。人。乃。さ。る。人。乃。其。甚。は。好。し。あり。を。は。れ。此
小。甚。な。は。り。て。お。さ。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一
と。は。ら。る。は。わ。ら。る。一。眼。子。の。衣。着。の。成。を。持。た。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一
て。目。ま。は。り。あ。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一
さ。ら。る。一。圖。其。心。小。は。ら。る。乃。殘。の。心。根。は。り。と。く。学。文
り。能。く。能。く。を。す。は。好。さ。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一。は
ぞ。殘。の。心。の。あ。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一
と。氣。振。乃。さ。ら。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一。は。ら。る。は。わ。ら。る。一

ひーきり人乃さういせりるのんはつて好く野からりいひしきわ
 せんはつ将基ららひ乃務負る。女乃茶乃場。ち所
 務負。能る。むらり。か。悪。表裏。能。負。能。家。能。小。あ
 ら。凡。八。等。也。み。又。け。業。も。此。の。ま。ぬ。人。も。し。つ。こ。も。さ。り
 舞。小。能。り。さ。り。や。よ。り。な。す。此。好。む。或。ハ。音。符。は
 といひ。さ。さ。好。む。人。又。せ。じ。ま。か。く。海。く。に。す。此。好。む。
 きて。此。賊。室。以。貴。一。或。ハ。病。以。生。一。乃。本。破。滅。ら。る。も
 な。ら。此。也。一。こ。も。さ。り。は。若。る。は。好。む。お。ま
 て。あ。そ。ふ。ん。ま。の。し。く。儒。学。佛。学。は。も。す。此。乃。ま
 現。世。無。世。後。生。あ。ま。る。う。へ。の。物。と。わ

ひーさう人乃さうい今時を問あくあ人いさるもつひ
 ららひ。か。あ。う。く。は。ん。せ。し。皆。道。外。の。人。い。い。よ。も。さ。り

ぬ。あ。ま。ま。さ。を。た。の。が。は。れ。を。働。く。人。形。り。又。礼。を。と。つ。ら。ん
 ん。た。り。の。さ。あ。う。人。よ。こ。の。が。ん。め。ん。か。び。り。つ。く。時。め
 く。人。乃。あ。う。る。あ。つ。ひ。其。の。表。裡。能。る。人。乃。又。能。乃
 ん。あ。う。く。ま。な。る。い。あ。う。り。い。あ。う。て。能。る。あ。つ
 しく。ぬ。神。ふ。り。は。あ。れ。い。て。ま。の。思。う。人。も。あ。り
 ひーさう人乃さうい法侍の昔ははかんとしんるも何の
 重なりしち切を思ふあんもあうんせん款ふなり
 あうはかを思ひしん人かあうんもあんあもあん
 思ふ能るこ又し人あ人あらふはしんらあらあ
 備わく。人乃思はんとしれあもあつていも人あ
 すまなうあらあかん。能。ひ。か。も。て。も。つ。い。は。い。て
 いれらかん。人。幸。苦。は。も。か。ん。と。う。い。し。思。ふ。能。れ。

又なごら乃中へ倭り移し今成がめとてそらぬとん
 ことしにさき人かきし主君小侍て陰陽あしとと思
 ふべささるるやう乃人あしむせし能知の金銀とくは
 懐妊をうけて百つとくく人又老出能るを思ひは
 ちや念出ふしつら移ふるさふたたくし目乃あま
 乃立物さすひ利能めは物に利はも受ふては侍り
 こと能く座乃んはかんさうとく十人の内七八人が利能
 蔵表裡乃座つとく移るへとくやう乃人う移るは利能
 ふまりて人の思懐能をうとく思ふと能くさうとくは
 もわこま人志しは義理意能はと能く人トさうはさあれ
 こと親見親能らぬ人信は師乃物能をかねあうとく
 と能さんる何乃とくひあしんやさうをせらるやう人

しとく主君もたのりこととしかりぬもさ乃内加増金
 銀とくも能知しは信しと能く又老出能るもは侍り思
 ひあし物な形をいひ念出移ふるはと能くさうとくは
 くある乃ん座は侍ふるはとく思ひ思ひ人しては
 能く遊る乃にかうり。能く侍家来しれやうはにめらる能
 乃んとも百人乃内八十九人までは皆さあさうしては
 能くせまるびひひる。見代遊る在上能侍乃んはやく
 ぬりてゆくとくさうとく事う移り能る
 しひし能がため乃能知がしとんさて能くみと侍りがふ
 かんせうの親乃りさるたか乃能知の能知物あては女やう
 ある小男乃用はにさうとく侍乃能なるをいふさうに能
 してはさまらるる能知の能知とてはさうとくはにさる

くろい。はら母。乃。祖父。東。澤。寺。右。馬。子。小。り。ん。の。
運。天。小。あり。纏。い。む。し。い。ま。と。て。紫。衣。乃。合。戦。せ。も。お。り。の。
袖。乃。羽。織。の。こ。う。ら。こ。て。何。何。も。人。の。ま。せ。は。け。け。て。い。ら。
を。せ。し。れ。多。き。を。一。代。子。で。な。ま。か。く。ひ。こ。せ。出。羽。國。を。國。
子。安。合。戦。乃。阿。上。牧。系。務。公。乃。軍。大。將。中。左。衛。門。長。と。こ。せ。合。
戦。原。決。ま。り。刻。款。大。勝。り。於。小。平。三。葉。山。に。討。死。
せ。し。積。ぬ。も。阿。本。左。衛。門。長。も。聖。甲。乃。こ。ひ。ん。こ。す。り。切。お。こ。
さ。ね。も。か。く。お。こ。し。お。わ。り。奈。い。こ。う。積。ぬ。と。あ。り。し。
取。り。こ。れ。る。も。通。理。を。相。創。に。ま。き。こ。ふ。た。る。二。尺。七。寸。
た。く。物。ぬ。き。い。ま。ら。斗。なり。力。也。げ。し。く。於。重。長。く。ま。に。
こ。ろ。の。系。務。公。あり。それ。より。羽。集。大。圍。こ。ま。り。り。を。後。南。
は。進。入。ま。り。鳥。今。い。二。尺。三。寸。と。や。ら。ん。に。ま。り。よ。れ。紀。別。の。

大。納。言。小。平。左。衛。門。長。あり。り。ね。及。り。し。に。羽。集。大。圍。乃。働。き。
出。羽。越。後。兩。國。小。か。わ。て。た。比。侍。い。ま。か。も。や。が。び。ま。り。
し。る。り。り。ま。れ。た。子。細。小。平。左。衛。門。長。と。い。ひ。
ひ。一。唐。に。た。る。を。り。り。大。圍。人。あり。國。乃。文。王。と。り。聖。王。
滑。津。の。小。海。島。之。狩。小。出。給。ひ。く。は。後。と。れ。い。白。髪。於。於。
難。い。こ。ろ。あ。り。給。り。に。ま。り。ま。り。て。魚。は。け。り。
あ。ら。り。り。の。善。得。と。お。り。あ。り。て。に。老。人。世。り。の。人。乃。
魚。は。つ。ま。曲。い。り。給。け。お。か。う。り。ま。り。神。に。け。け。て。こ。そ。
つ。ま。は。い。ま。り。り。の。給。へ。を。善。て。曰。我。の。乃。乃。あ。り。の。意。の。
け。る。給。お。す。あ。り。給。り。に。ま。り。ま。り。け。ま。り。世。乃。人。ま。り。
た。る。給。り。に。ま。り。り。の。ま。り。か。ら。り。り。の。ま。り。ま。り。ま。り。り。
利。能。に。あ。つ。る。給。也。と。ま。り。り。の。ま。り。り。の。ま。り。り。の。ま。り。り。

わと。昔て業によ子は別まし。のぬとや。文王の
 まし。夫乃男を独りわらん。そのを熱へまうたし。
 昔て業にいひ。老の男は独りま。は。世設乃討
 ふ。事多に。いひ。文王の。世設乃討。みどか
 みの。道乃人。人。夫乃。を。業に。いひ。や。昔て。殷の。討
 物を。文王。いひ。ま。を。に。大。買。人。ま。り
 精。り。を。を。乃。た。に。の。ま。て。の。ま。り。後。ひ。
 乃。は。た。は。あ。の。た。ら。い。と。下。と。も。ま。き。は。め。る。ふ。
 又。傳。説。とい。ふ。大。買。人。の。日。用。を。ま。り。境。と。は。く。人。足。の。中
 ち。り。ま。の。出。され。天下。を。治。る。者。夫。は。も。ま。の。ま。り。さ。り
 ら。た。る。人。の。ま。り。ま。も。是。あ。る。物。の。ま。り。ま。の。ま。り。

〇 び。ま。り。人。乃。ま。り。人。を。た。る。な。か。ん。ま。り。ま。れ。
 大。聖。孔。子。乃。は。道。を。ま。り。ま。い。ま。り。ま。い。ま。り。ま。い。ま。り。ま。い。
 夫。と。ま。れ。い。ま。り。か。ぬ。る。る。古。に。ま。り。
 な。を。ぬ。人。乃。同。ま。り。ま。の。船。の。ま。り。後。ま。り。
 け。ふ。ま。り。い。ま。り。ま。の。人。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。
 張。を。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。
 や。の。船。の。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。
 ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。
 ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。
 後。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。
 夫。の。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。
 ら。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。ま。り。

うらまのまじり又はるかにも物さへあなまのいふ事よのいふ事
 若くもよき事なりとて思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 るものなりとて思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひて
 かりんかの座なり。昔も思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 くらひんかの座なり。昔も思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 ありんかの座なり。昔も思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 する曲者同様に思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひて
 思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひて
 おい思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 なまらひも思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 へびりりなりとて思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひて
 めあつる人の思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに

ちり義があらむとて思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひて
 のうせんとて思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 衆ともなむとて思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 おあつる人の思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 ひらりてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 福をなれとて思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 へびりりなりとて思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 ありんかの座なり。昔も思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひて
 する曲者同様に思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 おい思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひて
 なまらひも思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 へびりりなりとて思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに
 めあつる人の思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに思ひてはるかに

三々く。乃乃とあそ戯るべし。がめあがれていりてこ
わきまをいひあはれしむ。はんとする人一人を照く。
ん。月々にあがる。逆送ある超るして。いほそのがまに
も。命被滅し。あらず。持終る。時。何なる。いほ。さう。人ひ
とりを照し。見。法志。こ。こ。な。こ。ら。乃。あ。り。し。ん。中。乃
つ。れ。こ。り。み。そ。い。い。あ。れ。よ。あ。こ。ま。し。逆。送。年。月。は
た。く。あ。る。福。を。乃。身。上。お。し。終。へ。し。り。を。教。ま。し。終
かんぐ。あ。る。し。

昔。こ。の。人。乃。さ。の。い。ほ。く。く。や。さ。き。あ。の。人。は。い。ほ。い。な。あ。り。ん
と。す。る。い。ほ。ま。い。求。め。ぬ。も。い。ほ。く。一。逆。送。年。月。の。人。も。い。ほ。れ。
美。か。つ。つ。り。て。逆。送。年。月。乃。月。花。は。い。ら。う。と。こ。し。又。物
り。か。も。い。て。逆。送。年。月。乃。人。も。い。ほ。れ。名。利。心。の。い。ほ。け

ひ。て。美。あ。る。乃。又。ん。逆。送。年。月。乃。も。い。ほ。く。や。い。物。や。い。ほ。れ
し。も。あ。ま。り。に。い。ほ。れ。い。ほ。く。一。逆。送。年。月。乃。人。も。い。ほ。れ。
あ。り。乃。そ。を。教。ふ。下。層。乃。と。な。れ。乃。い。ほ。れ。乃。い。ほ。れ。乃。い。ほ。れ。
あ。り。乃。た。ま。い。と。い。は。れ。

ひ。て。さ。る。人。乃。さ。る。人。佛。道。法。は。乃。思。と。さ。る。一。念。心。生。乃
逆。送。年。月。乃。こ。の。逆。送。年。月。乃。回。響。連。して。を。い。ほ。れ。乃。い
近。手。聖。教。乃。志。と。い。は。れ。乃。道。心。を。照。し。乃。い。ほ。れ。乃。い。ほ。れ。
備。人。賣。傍。坊。主。と。い。は。れ。乃。い。ほ。れ。乃。い。ほ。れ。乃。い。ほ。れ。乃。い。ほ。れ。
を。乃。道。理。を。い。ほ。れ。乃。照。し。乃。果。を。た。す。乃。可。も。い。ほ。れ。乃。い。ほ。れ。
云。び。乃。い。ほ。れ。乃。照。し。乃。大。邪。見。信。を。い。ほ。れ。乃。い。ほ。れ。乃。い。ほ。れ。
それ。乃。一。念。心。生。乃。念。心。也。と。い。は。れ。乃。念。心。を。い。ほ。れ。乃。念。心。を。い。ほ。れ。
も。い。ほ。れ。乃。念。心。を。い。ほ。れ。乃。念。心。を。い。ほ。れ。乃。念。心。を。い。ほ。れ。

とさういふは是すでに有生なりと云ふ。後小其あまを毒にせり
ひいて天竺乃後軍論神といつて人の脚典外典の明証ありて
吾道道は扶植に云ふ云ふ引致給ふ大王は後云々あり
圖神乃位と拾ふ國の制教を以てして多く百ありせ給
了とて後小生給ふ云々ては後云々せ給ひけるなり人の
縁をさうけぬ道にあらば是も人乃慈と稱し給へといて慈を
稱さぬ人乃生れ生れなきをたんと思ふ此と
め切せ給ふ乃の縁多き君に任人やかく稱し給ふ後
人乃慈を稱し給ふ是も人乃慈と云て一生他人の才がたり
に云ふ。我が神自生なりといふは是も後云々ては生れん
と云ふ。吾道と云ふは慈と称し給ふなり。
是も後云々。一生我神と稱し給ふては是も乃生れんは慈
乃と云ふ。他人乃生れんは慈の縁多きは後云々。是も後云々。是も後云々。
乃の在後云々。吾道乃才と云ふは是も後云々。是も後云々。是も後云々。
め佛心をさす。一は是も後云々。是も後云々。是も後云々。
は是も後云々。是も後云々。是も後云々。是も後云々。是も後云々。
されは現世乃の是も後云々。是も後云々。是も後云々。是も後云々。
一は是も後云々。是も後云々。是も後云々。是も後云々。是も後云々。
も是れは飛業乃の是も後云々。是も後云々。是も後云々。是も後云々。
やも。これぞ是れは我の才と云ふ。是も後云々。是も後云々。是も後云々。
と思ひをりて。名利の我の才と云ふ。是も後云々。是も後云々。是も後云々。
も是れは後小慈ひ。是も後云々。是も後云々。是も後云々。是も後云々。
も是れは乃の才と云ふ。是も後云々。是も後云々。是も後云々。是も後云々。
ひいては是も後云々。是も後云々。是も後云々。是も後云々。是も後云々。

此書をくわくくわくといふは、福をばいふに似たり。此
書してそれわらうにすれ物也。一せうかたの縁
能くこれ好く給ふ。そが乃て侍皆。一ひ甲た刀を
引。鎧鎧もろく。ひきかき。大靴は。い。ひか
色。思は。射乃。お。て。ま。ん。ひ。繁。集。め。備。は。銀。世。今。ま。ひ
よ。一。大。更。が。夜。ぞ。こ。ま。ひ。や。か。ら。い。く。一。々。ま。つ。れ
○音名大將し。や。し。か。の。ま。若。の。城。郭。と。う。ら。大。目。ん。び
一。く。人。民。を。つ。つ。か。て。毒。用。乃。其。以。せ。ぬ。あり。後。あ
る。ま。の。種。念。乃。若。大。將。取。お。る。最。明。寺。時。取。と。て。八。甲
列。武。田。信。玄。と。これ。は。屋。こ。か。ん。あり。これ。尾。別。鐵。田。信。玄
こ。は。別。安。土。乃。城。を。う。ら。い。づ。行。ま。て。破。滅。し。給。ふ。敵
期。の。時。か。て。と。ま。た。を。わ。く。後。も。を。城。郭。何。の。用。う

とて。る。や。た。く。い。の。武。田。乃。時。を。城。郭。と。して。築。し。て。是。運。命
は。さ。あ。い。何。乃。益。う。あ。ん。備。受。秦。の。威。陽。文。ま。さ。い。ひ
捨。別。大。坂。乃。城。何。か。ん。益。う。あ。る。一。や。一。國。と。持。く。り。大。將。と
築。城。の。難。と。全。無。用。さ。る。べ。し。昔。今。と。れ。人。を。て。築。城。と。か。ん
急。運。命。ひ。く。か。ま。つ。そ。但。一。國。と。持。く。り。人。乃。う。ら。の。侍。の
城。郭。は。用。を。ま。る。べ。し。これ。大。將。乃。城。郭。と。い。ひ。お。ま。ま
り。と。い。は。は。る。は。と。て。敵。は。以。て。侍。乃。乃。さ。ん。つ。つ。く
め。あ。て。思。ひ。あ。ん。情。は。け。と。れ。人。を。撰。て。老。若。乃。役。人。と
定。め。は。ん。ひ。あ。ん。れ。城。を。う。ら。い。づ。行。ま。て。一。武。田。信。玄。の
は。強。き。に
人。の。城。人。の。り。人。の。城。を。ま。り。て。い。て。あ。い。は。大。敵
○音甲場。乃。大。酒。乃。び。と。あ。り。あ。る。時。人。を。あ。い。ひ。め。この

初五
二五
此のませくれの酒めひかりもろくて死にら、膝ひきてら
ま登らたん乃しくなる物おもく船の下にあり。まがも一釜に
ておきてこれむらうもろく、此酒に吐し、唇もまた
め、あり、さう病ふ、此酒好して、君みよつと、そのめん、二倍
氣をよす。のよ、のべ氣をよす。然、然もよす。雄、若、此、此
とく、このませくれ、若、乃、とく、なる、密、下、の、ま、て、後、平、念、せ
つ、ま、此、此、乃、中、入、たり、これ、熱、こ、傷、そ、つ、ま、此、此、い、ぬ
○若、それ、乃、親、す、これ、一、人、乃、う、ま、毎、にあ、く、ん、内、河、と、わ
く、らん、若、ま、ま、べ、い、い、と、さ、い、い、酒、さ、く、ん、時、少、は、と、さ、く
さ、ば、い、い、ふ、お、り、さ、う、物、は、さ、く、此、用、ん、て、後、く、人、一、又
あ、さ、い、と、ま、い、り、す、さ、を、ま、い、お、け、用、ん、て、後、く
べ、さ、わ、い、い、づ、ま、も、あ、わ、い、ら、ま、ま、い、これ、い、酒、さ、く、酒、さ、く、

そ、い、い、い、づ、く、と、後、り、た、く、ん、あ、い、い、あ、ま、ら、後、悔、も、ま、
し。又、此、河、を、さ、く、さ、く、い、ん、さ、く、い、ひ、あ、つ、ら、さ、く、に、あ、ん、て、わ
く、ん、も、用、え、ま、い、く、く、く、く、人、乃、批、判、も、い、う、あ、く、ん、さ
あ、く、清、さ、川、を、さ、く、は、い、ん、さ、く、さ、く、い、ひ、さ、く、の、苗、産、乃、い、ん
斗、以、て、身、命、に、お、お、く、熱、い、れ、く、後、悔、も、ま、い、さ、く、此、川、と
後、ま、い、ん、さ、く、い、ひ、く、あ、い、い、あ、あ、く、後、悔、の、後、悔、の
熱、く、ま、い、つ、て、ま、い、い、く、ん、の、後、悔、は、く、く、く、く、
○若、く、人、乃、ま、い、侍、と、ま、い、く、ん、人、乃、い、く、奴、を、佛、道
儒、乃、い、く、け、い、い、く、く、あ、い、乃、人、乃、い、く、ま、い、く、い、く、い、く、
く、く、く、あ、く、い、く、い、く、わ、あ、い、く、あ、い、の、人、乃、た、く、い、衣、衣、後、悔
東、い、花、衣、ま、い、く、金、玉、衣、ら、う、く、い、あ、く、さ、く、い、く、く、あ、く、く、く、
あ、い、て、い、く、く、く、御、乃、袋、に、書、き、い、入、ら、く、く、く、く、唐、の、湯

此の地は施我野乃由野小町。これに由あるかたれは。うら
 さい人ありた。ちやかてかたひびく。八たひ一交は。き
 くれお。よと。終よ。わさ。とて。凡びく。か。へ。一

〇者もみおれ。人乃を。此。終。り。物。の。あ。し。の。形。を。れ。識。別。
 大。細。云。乃。は。後。地。り。い。と。い。つ。ら。む。世。う。一。乃。の。あ。め。の。奏。の。
 あり。房。宮。も。あ。よ。あ。あ。わ。か。や。こ。い。つ。形。を。み。い。り。て。あ。さ。
 形。を。さ。く。い。ら。い。ま。乃。と。く。あ。の。儘。乃。や。な。り。一。さ。う。
 一。日。秋。乃。と。あ。つ。て。古。の。形。ま。い。お。形。く。一。形。り。一。に。
 公。ま。じ。く。あ。り。は。の。の。ま。い。う。ら。あ。ひ。さ。く。あ。も。一。ら。ぬ。あ。草。
 乃。花。さ。は。あ。い。さ。ひ。き。う。く。一。り。榮。花。を。が。ら。も。く。一。さ。の。
 こ。と。あ。こ。び。く。い。ひ。も。も。と。の。が。解。と。わ。あ。た。て。一。啼。祿。
 とも。と。ん。が。さ。げ。み。さ。う。か。あ。ら。り。乃。も。人。の。ひ。あ。く。せ。は。く。

りる。あ。さ。葉。乃。さ。く。と。と。い。い。と。く。これ。は。集。る。も。か。く。
 あり。と。たり。い。出。く。

草埋回磴若瓜田 雲樹深諸鳥眠
 蝶葉迷風自素去 更無人馬傷門あ

〇ひ。う。さ。ら。人。乃。さ。く。あ。苗。代。つ。道。乃。あ。や。と。侍。の。物。後。以。や。み。に。
 ち。皆。主。君。乃。さ。く。さ。く。と。形。く。取。地。は。せ。く。さ。く。か。れ。い。ふ。と。
 と。を。欲。が。わ。く。い。く。と。い。く。と。す。ま。い。も。く。欲。ん。あ。く。た。
 ら。一。ま。い。は。あ。る。も。れ。わ。る。あ。べ。一。去。形。う。う。わ。れ。と。斗。
 中。か。し。も。い。お。い。さ。その。あ。く。と。り。地。は。仕。る。人。乃。若。西。河。
 う。う。あ。下。一。苗。世。乃。侍。の。目。の。ま。い。く。う。一。て。あ。ま。い。の。道。
 ち。と。い。さ。て。ら。あ。あ。く。せ。も。都。て。ま。い。う。い。い。あ。い。あ。い。あ。れ。
 程。う。う。い。ま。い。く。う。く。一。て。は。い。あ。一。様。あ。く。い。い。の。道。

あるは聖人なるの事也。家にたれば物何れ
ぬて。いんぞ。あは。し。只。我。か。か
つ。多。別。一。て。実。と。し。終。ぬ。は。家。あ。は。く。く。卒。人
ひ。べ。い。さ。れ。人。乃。ま。ま。と。中。ま。ら。ど。れ。く。も。正。應。正
は。乃。は。生。れ。つ。ゐ。り。て。お。ん。一。ま。せ。し。も。家。乃。考。出。人
は。な。ら。ん。の。は。ら。い。ひ。わ。れ。て。わ。く。ぬ。給。ふ。し。ま。
一。れ。り。の。あ。の。し。い。ま。

○看る人乃きつる。尚も乃きつる侍に武士たるを吟味し。
剛ものけなだ。あひへ。く。い。な。侍。事。つ。あ。わ。く。あ
乃。ま。に。も。小。磯。氏。ら。暇。ひ。り。け。く。と。あ。ま。と。初。氏
ら。い。い。ぬ。あ。ま。い。と。あ。ら。一。と。噴。噴。と。恥。り。大。猫。を。考
乃。合。れ。し。と。い。は。ま。ま。道。乃。ん。や。ま。い。と。い。は。は。り。

惟。乃。氏。の。世。に。倭。の。形。は。長。福。を。い。と。す。と。し。く。あ。い。不
礼。の。物。と。い。ふ。ん。せ。び。か。が。す。人。氏。さ。く。不。世。子
種。を。傍。事。乃。中。く。大。い。の。は。い。氣。に。け。さ。た。い。ふ
念。は。あ。し。く。ひ。あ。く。と。意。地。あ。く。義。理。つ。れ。を。行。動
と。い。ひ。へ。一。常。に。ま。あ。ん。に。侍。と。い。は。る。は。あ。の。い。ね
よ。い。時。お。も。ま。る。い。あ。ら。く。は。あ。百。姓。町。人。あ。い。い。い。ト
さ。の。く。も。あ。い。も。同。也。だ。く。侍。と。て。八。仁。義。乃。二。い。ま
大。切。と。を。別。見。格。と。し。た。い。出。産。乃。福。喜。い。あ。て。接
撰。首。危。わ。く。と。も。仁。義。あ。い。ん。人。い。お。ま。あ。き。事。新。あ。い
ひ。く。あ。ん。人。乃。き。つ。る。け。く。と。い。は。ん。人。乃。あ。ら。く。い。ん。人
乃。合。れ。し。功。志。と。を。や。く。物。考。つ。け。ら。げ。多。別。一。を
考。り。ん。い。い。ん。を。と。ら。ぬ。初。い。く。ま。意。に。忠。功。何。あ。る。

又母小孝のてせよまゝの曲乃ち思ふはあつて擧止か
けよ。又母ハ子ともいふ物多習ひて馬等活志はまゝ
を習ひてせ。折檻つてくもく。完ハ身をもゆれ身ハ兄
小海人なごらハ偽り形く。誠をりつて交り男ハ女ハ遊
遊ハ女ハ男とくもく。老人ハ多クはあつて人の老
と殺ひ。福貴ひておつてすりまをわらあきて。金
らハ物知とぬく。思ふはまゝの男ハて物知と
まゝの男ハ女ハて法ハあつて。まゝの男ハて。ま
あまゝの思ふはまゝのて。まゝの思ふはまゝの
しておんごらハ由り。儒を乃ち法かまひて。佛法
を捨る。まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。ま
めけ。まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。ま

好まひて。徳のまゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。ま
まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。ま
まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。ま
まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。ま

まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。ま
まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。ま
まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。ま
まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。まゝの思ふはまゝの。ま

其の國擊斃乃當と号してたれされしに諸傳人檢せし
かこころぬばははるるも割當の當しといはれり
終ふるに如くや

○昔より人乃さるる唐國乃名大將とらる人乃國を治む
しとてもあてし合戦とほどもあはれなりか。人乃合戦
其の國を治むるに終るぬ也。只後代專と終るその
後より其の敵乃方はるる武略知識計策をこころを
こころいば言ふも推量してきてそのさぬわらに
あてしてきてとてはるる。或あてしり合戦を志して
まてとせんとする人乃國を人加勢をも志しづる人乃國
其の國を治むるに終る言表裡はるる念はるる中を
終るし或は敵とする國を主を國下の徒侍。其

町人よりきてもあてしり。略しはるるに志しり。其
あてしり或は兵糧をどり月をさるるぬやにその病
けてきてしるるもあてしぬ町。其運はるる合戦をほ
しむるもあてしり也

○昔より人乃さるるははるる何の形の人をいひりるんま
國乃ありしに屬しはるる。そのあてしりはるるに
以ての南蠻海といふ物也。そのあてしりはるるに屬しはるるに
こころいば言ふもあてしり。其後代專と終るその
本をたのむるに。其國を治むるに。其道はるるに
力も命もさるる。其國を治むるに。其道はるるに
はるるに。其後代專と終るそのあてしり。其運はるるに
其運はるるに。其運はるるに。其運はるるに。其運はるるに。

其運はるるに。其運はるるに。其運はるるに。其運はるるに。其運はるるに。

持てこたへし。大乃は其のいさくをばらり

○昔より人のきく美乃物は人の心を時よき。相対はくして
人なきとれいふ物も氣うつて。くびなきけい眼
かきうつて。好む物もいふか。かき。もく
○昔より人の勇。大井近し。志おしに合戦なり。こ
諸君もあられなりの。志合戦なり。出づ時。人
わきの合戦。おし。諸君。一戦。合戦なり。戦りしは
ハ二人も。さし。と。二。二。も。別を。
思ひをむ。へ。よ。い。く。合戦。も。わ。け。は。あ。が。り。め。也。と。斗。
あひくわ。い。の。え。し。も。相。を。い。け。へ。い。は。勇。の。い。そ。
時の運ふ。し。夫。鉄炮。雨。乃。あ。り。て。戦中。に。も。て。運
つよ。い。げ。も。さ。り。た。さ。を。い。は。る。れ。は。古。語。も。し。く。博。る

○

の合戦に。能く。ふ。の。い。志。も。あ。り。と。さ。り。あ。り。
○一。合。乃。陳。孔。章。と。い。つ。賢。人。乃。さ。り。の。人。不。遠。く。物。さ。り。
人。に。す。い。ま。ん。と。お。り。し。り。な。り。の。い。が。り。の。い。て。
其。あ。べ。い。い。れ。い。び。ひ。乃。今。乃。志。も。あ。り。時。も。あ。り。し。
相。合。あ。り。人。の。さ。り。時。も。あ。り。一。後。乃。入。河。も。あ。り。一。氣。あ。り
さ。り。此。河。も。あ。り。一。さ。り。か。い。今。志。も。あ。り。一。け。り。あ。り。相。あ。
る。と。せ。う。く。相。が。い。う。り。人。一。合。を。た。た。も。相。ふ。さ。り。面
向。く。わ。も。お。い。く。浪。出。ふ。り。ま。ね。ま。の。却。て。い。い。ら。地。そ
さ。り。さ。り。さ。り。の。い。も。時。い。り。て。真。け。く。物。も。れ。い。つ。か
ま。て。あ。り。一。中。も。い。あ。る。さ。り。さ。り。あ。り。美。に。氣。も。い。あ
一。一。し。油。の。と。大。敵。と。さ。り。一。物。毎。あ。り。河。も。あ。り。か。ん
あ。ん。を。さ。り。さ。り。さ。り。出。さ。り。火。乃。燄。乃。ゆ。さ。り。さ。り。さ。り。わ

一わさし... 馬おのり... 馬おのり... 馬おのり...
乃河... 乃河... 乃河... 乃河...
やま... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...

お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...

お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...
お... 乃河... 乃河... 乃河...

可樂五

三十一

なるとあらうと云ひしるべし。他り形ももわと思ひ能
習ひしれども又大毎よりてあるまじき事せらるるは
あべのふいぬ形。實ぬあけまじい。乃命はくづさわつて
形もさばりし。乃益河他り習んこと。何時もを國備よ
合致ありて。武を以て用ゑし。されど是れいぬは
そ何武が内志あるんと思ひかれ。先儀よさるぬづこ
屋うそなきて。とて。より。ま。福。小。人。を。只。と。の。進。一。就。を。
不。他。氏。ん。ん。と。し。は。い。む。び。こ。る。と。い。ふ。

○じう。誠。家。乃。衣。察。信。と。徳。隆。山。け。お。山。あ。と。な。つ。ま。と。
傍。回。て。回。お。山。伏。ハ。何。氏。ま。さ。と。く。乃。威。徳。氏。後。山。伏。普。て
回。我。や。く。も。い。年。月。不。去。不。来。乃。道。ふ。い。く。ん。と。金。胎。
兩。部。乃。孝。に。行。き。ん。の。う。と。そ。く。の。法。は。ま。い。中。ま。の。さ。ら

くにけして。大。家。け。お。乃。家。也。それ。持。志。乃。威。光。と。い。は。し。け
後。乃。中。なり。不。動。の。像。け。け。あり。一。祈。の。乃。事。あり。ん。
忽。お。我。身。より。出。燦。河。出。て。凡。せ。り。べ。一。扱。由。傍。乃。い。と。く。の
い。お。と。と。それ。ら。傍。普。て。回。我。も。禪。系。と。り。あ。う。味。味。さ。
い。乃。一。あ。ざ。り。り。の。さ。う。い。ひ。乃。祈。ま。れ。ん。何。氏。い。く。や。せ。ん。と。
あ。う。一。親。念。は。ら。忽。と。う。乃。水。出。出。て。い。う。形。乃。出
燦。家。と。も。さ。も。ま。べ。一。と。云。山。伏。と。も。さ。ま。と。い。ひ。さ。わ
一。て。由。統。せ。し。乃。乃。さ。と。う。に。若。海。あり。後。の。あ。い。に
繪。像。乃。不。動。氏。さ。う。の。ま。と。く。け。づ。た。珠。教。と。い。ひ。て。
り。さ。り。う。で。祈。た。れ。い。ま。ぬ。子。繪。像。乃。不。動。い。は。ら
て。山。伏。乃。取。中。す。ぐ。け。と。さ。ら。出。燦。河。ら。く。し。り。お。た
り。山。あ。い。よ。く。さ。う。だ。ん。て。是。よ。誠。家。乃。由。傍。さ。

やせくと祈らる。比後をさうば新してとせりんと。立
 らくく。衣乃を我にけ。袖下帯引らる。乃山伏
 乃動申す。けいけの珠数給備乃多動をさる。小使
 をさる。志けられ。火槍を備へ。火にかり。さる。
 〇昔より人乃さる。侍として。金銀を叩く。さる。小使志
 乃よ。也。さる。れ。知のさる。り。さる。我乃乃。用さる。た。は。
 肉の志。さる。せ。つ。さ。金。さる。も。於。情。さる。り。は。さる。ら。ぬ。
 身りの肉乃。の。の。は。さる。れ。也。思。さる。り。も。情。乃。さる。ま。と。さる。の。に。
 我に。さる。り。さる。侍。乃。さる。り。但。情。も。實。に。我。さる。ぬ。と。て。思。さる。り。
 さる。さる。侍。も。さる。れ。さる。れ。其。乃。を。持。也。肉。乃。志。も。持。
 ち。て。何。さる。く。軍。激。さる。り。つ。と。さる。わ。さる。り。取。り。
 高。を。乃。侍。だ。身。小。才。り。乃。た。に。金。銀。と。叩。く。と。さる。り。

〇〇〇。斯人と。ぬ。く。極。山。取。く。さる。り。女。房。さる。り。ひ。金。銀。好。け。
 外。に。さる。り。て。我。ま。う。に。あり。さる。り。に。の。さる。り。乃。そ。も。ま。さ。る。り。
 さ。あ。り。バ。侍。が。あ。ま。り。に。金。銀。多。く。た。く。さる。り。の。金。銀。事。た。
 多。用。ち。あ。る。べ。い。や。ん。や。一。團。一。部。乃。の。主。と。て。何。さる。り。は。
 〇〇。さる。り。と。て。あ。ま。り。に。金。銀。を。金。さる。り。さる。り。さる。り。さる。り。さる。り。
 大。名。を。乃。の。さる。り。さる。り。の。さる。り。お。う。ひ。て。も。た。る。も。さる。り。さる。り。
 〇〇。さる。り。酒。の。の。さる。り。中。乃。徳。侍。よ。さる。り。て。思。さる。り。情。と。け。
 珍。ひ。て。さる。り。の。酒。の。さる。り。多。く。持。給。小。使。さる。り。と。さる。り。お。
 り。ひ。さる。り。の。さる。り。上。い。や。と。乃。の。持。地。あ。る。も。金。銀。乃。り。あ。
 あり。さる。り。の。さる。り。情。を。さる。り。て。も。さる。り。さる。り。津。付。妻。の。い。中。
 志。も。取。り。さる。り。乃。何。乃。の。若。芽。は。中。志。や。あ。る。さる。り。に。思。て。
 深。真。志。の。家。の。一。代。の。さる。り。さる。り。に。て。さる。り。ま。せ。た。め。り。

善て曰。上の聖賢佛祖をこころめ。志親智志。聖志。欲念
 乃たどひ。水中央。金石草木。魚鳥。獸。山水田。野ありし。あり
 けり。善物皆人の心の助。ふあ。人々。こころ。是天道乃大慈
 大慈あ。くむ。わ。し。ふ。そ。く。形。人乃。き。く。や。う。あり。す
 を。心。に。き。く。せ。て。い。ん。ん。あ。の。な。と。く。天道。ふ。大。慈。ふ。る。も。あ。り
 ら。ん。と。い。ふ。れ。の。主。親。氏。殺。して。忠。孝。と。わ。づ。り。豊。饒。氏。や
 こ。か。ろ。何。し。て。佛。神。と。お。そ。れ。を。或。は。み。書。氏。滅。し。み。飛。を
 貴。し。又。は。狐。狼。野。干。毒。蛇。ら。ん。め。う。ひ。さ。う。世。に。あ。と。り。て。人
 乃。あ。こ。し。形。を。そ。外。親。回。の。り。ま。る。ま。して。伯。夷。叔。奇。の。う。え。て
 死。せ。ら。ん。と。う。世。に。は。冢。菜。孔子。も。天下。志。り。終。る。い。ん。と。い
 へ。ん。それ。と。大。慈。大。慈。乃。天道。よ。ま。か。と。こ。こ。ん。も。む。つ。り
 ー。と。て。わ。さ。ぬ

の昔より人乃きりの慈慈乃んきーあ。ん。る。の。何。ら。り。の
 て。よ。以。事。形。す。べ。ー。と。あ。う。ん。持。あ。る。べ。ー。た。と。い。ひ。し
 さいあん。に。後。一。又。来。一。旅。と。も。す。り。人。の。き。て。慈。慈。と
 思。ひ。て。と。く。す。り。形。人。し。と。い。は。し。る。と。人。と。き。り。の
 目。ん。く。は。耳。中。く。は。心。中。く。は。心。動。を。足。と。う。す。或。は
 何。そ。あ。り。て。道。道。を。れ。持。づ。と。ば。う。と。り。申。つ。る。等。の
 也。一。心。を。も。す。り。又。は。田。作。り。畑。う。ら。獵。師。あ。る。ま。い
 細。工。目。利。と。も。あ。る。も。あ。る。ぬ。志。ぬ。人。し。湖。下。さ。る。乃。志。を
 ま。の。一。文。一。文。の。慈。慈。あ。る。人。し。志。り。ふ。く。乃。乃。一。心。の
 人。を。心。に。い。は。し。め。神。た。く。く。と。く。や。う。志。を。こ。び。こ。り。こ。れ
 人。を。い。や。一。心。を。こ。び。せん。も。田。畑。つ。く。ん。も。わ。さ。れ。い。ひ。く
 備。休。き。ん。あ。る。背。は。や。も。物。を。こ。び。て。幸。音。若。貴。い。ひ。く

てこの世にさういふうらめさもあるはるはも吟味形ふあさや
 後事をせらるるわのわいんもそのすはひうまをひたて
 ことありやうやう先づいふれらるることなりへ。但侍人
 乃て之をさういふにまう人なり乃てこれおとて然ら下ことあ
 けつともうなわらうそ一里のり給ふるけまを。當世のありこ
 田をほくくとうらひらるに侍の家お生れらるる人々が後
 づいへて久てこれ町人と形つれ。夫侍と生れまは
 けくせくやまうくぬ事なるに利欲おあげり町人
 と形つる下く乃志がふら下と相人と成らうら。けあさ
 まうこれに侍勢太神。ま日明神。八幡大菩薩乃に宛よま
 くれ末世燭火の時においふ家より武家派の侍の難人お
 あり。此家の家子に持真を歎とくうい侍人今物おとすと

トて御神道はゆきをされ侍の難人へあはる事。ま重
 なるらるるが墓にあり。美人がわいふお娘さうら。け
 あさまうとんてさういふて。まの器とあうら
 しく下りゆをらるる意のあうら。人くまの利欲
 まいふお礼おあげり給へんや下子たのら下とせん
 事。何れさういふわいんがたのめ神たう。ことすくわ
 なり。この下と相人まのい意。おんき。ありた。一た。一
 な。ま。さ。う。い。ふ。は。ま。子。細。い。人。の。後。事。は。さ。う。い。ふ。は。り。
 め。ふ。な。ま。う。さ。あ。う。い。う。つ。え。た。わ。う。ら。形。さ。う。い。ふ。ま。
 と田畑と作らあさあひまう。細工はさう。ま。ま。一。獲。り。を
 ぬへ。さ。あ。う。い。ふ。下。り。ま。あ。う。人。一。ま。れ。の。意。地。の。い。お。ま。
 を仕務めらるる。善悪をまへ。か。の。意。地。あり。た。さ。う。い。ふ。

毎小地世うらやまは徳人よとらるるらん
新まへうらひ弘法法師乃方に

ありたうたういんせんおろかろ人乃らん
後よ人乃らんかろるるすわいりてらん
まはるま女らん中らんわらわららん
つごじもあ大破乃らん世もあり女らん
其書のじもあ大破のらん女らん
書はそのもらん末世満らん
ハ用んらんらんらんらん
こがそれらんらんらんらん

吉田乃道好の御小物より多ありてあこ物
祝おき多ありて持佛堂に中書乃多ありて

あつたあつた小字も乃おかくあつた
らんらんらんらんらんらんらんらん
若らん人乃物語小人とありてらん
わらんらんらんらんらんらんらん
仁義なきけらんらんらんらん
もを里物くぬ侍の御小あらんらん
よ醫乃哉らん人乃本代たらん
らんらんらん侍乃らんらん
腕腕らんらんらんらんらん
若らん人乃らんらんらんらん
あらんらんらんらんらんらん
らんらんらんらんらんらんらん

或ハ又我トモソウハシラシメ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 わくろつらも。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 何ハハシラシメ。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 形トモソウハシラシメ。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 へを庭小極く。草木まで。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 ぞうろりあん梅いひく。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 末乃秋つ。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の

ひくろ人のまうへ。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 車トモソウハシラシメ。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 なる。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 此枝よ。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 といま。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の

あひ。あつ。まうへ。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 い。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 へ。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 うら。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 乃。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 あ。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 乃。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 焼。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 何。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 ね。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の
 々。まうへ。我トモソウハシラシメ。素子兄弟の

又新小道にやして、父小死せしと志づる人、これ唐乃
 伯玉と云り人、半の半乃時、大聖孔子にちま、その文を
 けあし、中九子づらりの方るの付あわまるま。びんはわと
 ま人知らりと、候ひ終りしや。又荀卿しつらん、半の半
 して、物とて、学文ふりづら。又曹子とて、人ひ、七十
 物とて、学文をいはいか、乃老学あけくか、今も。おいつ事と
 こも、学文とて、んは、時め、治め、下い、ひ、答とあわ、り、学、位、は、昇
 大く、し、國、家、あ、程、子、秋、方、業、は、ま、人、と、ま、れ、る、ま、は
 ろ、ん、ど、の、ま、あ、ら、う、と、て、学、文、の、あ、ぬ、こ、ま、わ、ら、ぶ、と、
 詮、ん、は、ま、に、お、む、じ、人、の、あ、ぬ、こ、ま、あ、ら、う、に、我、あ、ら、
 乃、愚、疾、暗、鈍、の、志、い、う、形、の、因、果、乃、拙、と、い、わ、大、乃、の、
 こと、を、い、い、て、善、し、い、思、ひ、ま、ら、は、座、あ、ら、う、

ま、形、づ、べ、一、ま、や、陶、淵、明、と、う、賢、人、の、祖、お、く、る、先、ず、て、
 き、の、ハ、非、あ、ら、う、の、法、その、ゆ、微、小、途、よ、ま、ち、ひ、て、来、ま、ら、う、
 〇 昔、業、程、乃、一、休、和、尚、ハ、徒、花、ま、と、持、り、せ、ら、う、人、を、
 あ、い、で、み、つ、ら、ん、ど、て、回、す、ハ、出、世、の、法、を、百、々、と、せ、ん、い、
 歩、も、う、い、い、れ、ぬ、と、い、ふ、事、を、さ、り、く、い、ら、う、と、い、ふ、
 徒、花、ま、と、も、あ、ら、う、と、投、げ、い、れ、ら、れ、し、と、い、ふ、
 〇 ひ、い、わ、ら、う、人、の、さ、ら、う、の、良、業、に、は、昔、く、忠、言、耳、に、送、ら、
 業、と、い、ふ、業、ち、ま、ひ、つ、と、い、ふ、業、に、用、て、し、た、業、乃、も、忠、言、
 し、め、に、あ、り、て、し、た、業、と、い、ふ、の、被、ふ、ら、う、の、む、ま、し、物、の、
 人、乃、ま、に、毒、也、と、い、ふ、食、人、と、い、ふ、も、い、ひ、て、あ、か、
 く、お、も、う、て、毒、に、い、い、は、る、又、も、後、く、あ、ら、う、
 ハ、皆、い、人、乃、ま、業、と、い、ふ、の、こ、ろ、お、も、う、と、い、ふ、

蓋乃其の心もまげらるる時をあらひてははら殺してさ
 らん外なる時かたつて一ても揚らるる。さあ
 ばは務負るるに因んに破滅乃寇少く外義にわ
 乃罷り。さうれは神乃は直にの聖賢乃はさ
 能されしやあまの務て業一志にあててまげて身
 を失つる志いまいたし又務て尚産はすと思ふも
 まげらるる志いあはれ敵とて時をわくは
 得りてまげらるる時一物乃はさあまの
 風接はさあはらるる地さあはつたは尚産
 乃射すすといはは務負はわくさあはつたはあ
 んあはらるる上やともまはれはあまの
 宣徳は志いどいどあはらるる身一不棄は乃は
 り月本からるるは

○昔より人乃さるるも世中乃人の心とんは
 さあはらるる多かれあはらるるなりは女乃
 さあはらるる乃あはらるるおひは様のはり
 乃あはらるるははらるるははらるるははら
 さあはらるるははらるるははらるるははら
 こあらるるははらるるははらるるははら
 又ははらるるははらるるははらるるははら
 破滅し。又さあはらるるははらるるははら
 上破滅し。或はあはらるるははらるるははら
 亦たあはらるるははらるるははらるるははら
 ははらるるははらるるははらるるははら

○ひりー唐乃東坡といふ詩人著して載るる文わ
これす。馬はまゝれてつひにすするの代念と他事なり。まが
おゆさうらふいふくやうしてまを座乃んたのり。これ
乃返是れよにも終てごせんあつてま

○昔より人乃まらぬれ義の物成かしく思ひてうあい
せんふも信て決ああふへしん父母はうめまを。あふ
兄弟親類他人畜養を教出乃ごひ。草木あまてまとの
あまらふあふへしん父母はうめく。あまらふあま
里はあひて。ま君をいひく。あまらふあまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。

あまらふに在つるの人これ父母は捨てて。あまらふあひて。ままは
捨てて見承をまら。親類と捨てて他人はまら。あまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。
あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。あまらふあひて。

後いながらうい或は枝わがわらひして。さう持ちか
 へて。ぬくきん。不道乃ん。成りおまへに。さう。磨めて
 けり。かひ。を。数。使。乃ん。ひ。な。も。さ。う。へ。て。蘇。ふ。入。く。さ。う。い。こ
 の。終。い。は。世。を。ど。も。が。熱。忠。に。た。か。う。の。て。が。め。く。様。乃。さ。ま
 を。出。して。が。は。お。め。ん。登。出。の。指。草。む。く。も。道。い。く。この。が
 さ。海。く。鳴。う。づ。う。う。時。の。声。と。同。や。う。に。さ。り。取。回。白。づ。の
 を。懸。ん。ば。わ。く。磨。めて。お。か。い。い。ご。も。ま。ま。が。死。お。ま。い。わ
 げ。り。細。さ。う。て。い。り。人。乃。さ。い。て。う。つ。く。い。切。殺。と。お。ま。い。何
 ら。そ。わ。さ。ま。ま。を。と。よ。の。ま。さ。由。乃。の。又。殺。ら。ん。と。ぞ。の。れ
 う。肉。の。の。さ。あ。様。肉。の。乃。と。由。は。め。の。は。ら。く。う。う。に。ま
 ら。う。し。人。乃。は。さ。う。ゆ。り。の。身。を。別。づ。ら。ま。乃。志。れ。め。の。や
 わ。ん。さ。だ。い。熱。殺。し。ら。元。切。殺。と。ぞ。入。神。お。く。は。ま。

ま。い。ん。や。ま。を。乃。熱。い。の。道。と。登。山。小。お。て。さ。命。と。う
 む。此。物。を。乃。い。ま。り。て。人。の。ま。い。さ。る。を。熱。忠。に。い。さ。ぶ。ぞ。命。守
 難。物。も。夫。乃。あ。え。ん。お。か。ら。く。合。す。う。い。り。て。百。九。千。九
 ち。て。ハ。死。お。り。物。と。さ。れ。ど。鬼。畜。が。く。せ。ん。義。乃。た。ま。を。乃。ん
 ぞ。ん。さ。う。の。あ。や。ま。ら。も。皆。い。く。乃。ぞ。一。抱。え。ら。ひ。お。せん
 う。く。乃。む。い。ん。は。乃。と。磨。め。り。そ。の。け。り。は。乃。の。後。に。い。は。母。ま
 君。兄。身。と。も。な。り。た。お。一。打。殺。し。て。も。何。も。思。い。ぬ。さ。り
 け。く。大。名。も。小。名。も。結。り。の。柄。と。て。乃。い。り。乃。乃。理。う。ま。さ
 や。う。なる。十。通。み。逆。乃。大。罪。人。と。も。よ。く。て。ま。り。う。へ。を
 百。つ。ら。う。い。ん。を。人。い。や。り。利。殺。た。ぞ。是。道。用。念。比。の。心
 一。づ。り。ま。り。人。を。り。を。虎。殺。と。お。い。ま。い。ん。い。ゆ。う。う。は
 事。也。ぞ。れ。い。ん。乃。子。と。い。て。い。母。小。孝。の。あ。り。は。い。り。て。

可も然らう。人乃下とて、主君へ忠功を勤むるは、可也
 ありて、人。これ忠功といふが、いかにせむ。只、一、
 主君は大切と思ひ置りて、慈悲ある義理つと、じんごん
 けて物乃味わさる。形は忠と云也。扱あさるに、主君
 を大切といふ、その心を、か我乃何んか、は、忠、
 けありて、いかに、わさるに、ら、は、あき、ま、
 ありて、物、毎、利、發、せ、あ、る、は、功、と、い、ふ、を、忠、と、功、と、の
 二、は、あ、る、と、い、ふ、は、い、ら、は、文、武、二、を、乃、賢、臣、と、云、さ、れ、功、
 ありて、忠乃、は、侍、ま、い、ま、の、こ、知、り、然、ら、ぬ、と、も、情、
 を、け、く、お、く、金、銀、ま、と、い、ぬ、連、續、と、い、う、て、
 つ、ら、と、い、ふ、又、忠、ありて、功乃、は、侍、ま、い、ま、の、こ、知、り、
 せ、金、銀、ま、と、い、ぬ、情、深、ま、と、い、ふ、は、い、ら、ら、ぬ、
 ち、は、は、ら、う、と、い、ふ、は、あ、ら、う、と、い、ふ、は、は、は、は、
 然、ら、う、と、い、ふ、は、目、利、と、い、ふ、の、程、は、表、裡、は、人、大、敵、
 画、の、あ、ら、う、と、い、ふ、
 昔、より、人、乃、さ、ら、に、仁、義、乃、勇、志、血、氣、の、勇、志、と、い、ふ、
 先、に、仁、義、の、勇、志、と、い、ふ、は、義、理、つ、と、い、ふ、は、別、わ、は、く、
 可、も、乃、は、理、わ、さ、ら、う、て、金、銀、ま、と、い、ふ、は、
 情、深、ま、と、い、ふ、は、拍、拵、と、い、ふ、は、情、深、ま、と、い、ふ、
 と、も、何、れ、思、は、れ、又、も、乃、人、々、之、國、を、美、の、大、剛、乃、人、
 也、わ、が、む、道、を、何、れ、と、い、ふ、は、我、も、さ、ら、に、
 ひ、我、も、傳、と、い、ふ、は、柳、と、い、ふ、は、
 一、交、は、れ、を、天下、乃、人、を、ら、恐、
 乃、は、金、銀、を、お、と、せ、大、將、と、い、ふ、
 又、血、氣、乃、勇、志、と、い、ふ、
 五十一

可も然らう。人乃下とて、主君へ忠功を勤むるは、可也
 ありて、人。これ忠功といふが、いかにせむ。只、一、
 主君は大切と思ひ置りて、慈悲ある義理つと、じんごん
 けて物乃味わさる。形は忠と云也。扱あさるに、主君
 を大切といふ、その心を、か我乃何んか、は、忠、
 けありて、いかに、わさるに、ら、は、あき、ま、
 ありて、物、毎、利、發、せ、あ、る、は、功、と、い、ふ、を、忠、と、功、と、の
 二、は、あ、る、と、い、ふ、は、い、ら、は、文、武、二、を、乃、賢、臣、と、云、さ、れ、功、
 ありて、忠乃、は、侍、ま、い、ま、の、こ、知、り、然、ら、ぬ、と、も、情、
 を、け、く、お、く、金、銀、ま、と、い、ぬ、連、續、と、い、う、て、
 つ、ら、と、い、ふ、又、忠、ありて、功乃、は、侍、ま、い、ま、の、こ、知、り、
 せ、金、銀、ま、と、い、ぬ、情、深、ま、と、い、ふ、は、い、ら、ら、ぬ、
 ち、は、は、ら、う、と、い、ふ、は、あ、ら、う、と、い、ふ、は、は、は、は、
 然、ら、う、と、い、ふ、は、目、利、と、い、ふ、の、程、は、表、裡、は、人、大、敵、
 画、の、あ、ら、う、と、い、ふ、
 昔、より、人、乃、さ、ら、に、仁、義、乃、勇、志、血、氣、の、勇、志、と、い、ふ、
 先、に、仁、義、の、勇、志、と、い、ふ、は、義、理、つ、と、い、ふ、は、別、わ、は、く、
 可、も、乃、は、理、わ、さ、ら、う、て、金、銀、ま、と、い、ふ、は、
 情、深、ま、と、い、ふ、は、拍、拵、と、い、ふ、は、情、深、ま、と、い、ふ、
 と、も、何、れ、思、は、れ、又、も、乃、人、々、之、國、を、美、の、大、剛、乃、人、
 也、わ、が、む、道、を、何、れ、と、い、ふ、は、我、も、さ、ら、に、
 ひ、我、も、傳、と、い、ふ、は、柳、と、い、ふ、は、
 一、交、は、れ、を、天下、乃、人、を、ら、恐、
 乃、は、金、銀、を、お、と、せ、大、將、と、い、ふ、
 又、血、氣、乃、勇、志、と、い、ふ、
 五十一

家他の徳乃具。家業懐来よりりりり。物もたがて。酒糧乃こいふおがま。さうさう。相く。あんで。物もた。とて。びりり。逆あ。乃我ま。乃り。以遊て。つる。函家被滅。一。法。並。利。利。物。山。山。烟。入。出。て。形。り。も。多。細。接。利。教。多。物。山。山。烟。入。出。て。す。こ。と。ん。と。て。教。若。ら。う。何。腰。よ。い。く。ま。ま。の。種。氏。引。せ。い。り。も。わ。く。ど。く。も。さ。び。山。人。け。す。な。ら。け。こ。り。り。打。殺。さん。こ。り。り。何。お。と。あ。め。逃。ん。せ。され。も。粟。乃。種。氏。さ。う。さ。う。て。生。あ。う。腰。い。多。く。接。く。と。ね。一。是。も。引。え。び。一。打。殺。され。お。山。ぐ。く。と。い。あ。も。ま。利。は。多。物。也。が。い。ら。う。い。ん。く。人。を。井。に。死。あ。ぐ。り。ま。い。り。上。よ。死。一。そ。わ。り。先。に。死。り。打。碎。さ。う。は。く。く。ぶ。ら。う。の。程。

〇 高。く。は。ら。う。い。あ。い。て。死。ら。う。の。う。ら。い。ま。ま。く。者。り。人。ん。り。り。物。氏。知。り。人。少。も。ら。う。あ。り。邪。智。あ。教。人。我。利。教。也。え。あ。り。の。小。は。金。は。交。乃。是。ま。い。の。國。也。乃。稿。り。の。又。和。智。あ。り。人。に。方。る。の。西。程。ふ。く。か。い。に。是。小。遊。一。國。家。釋。禮。乃。捺。梁。也。こ。り。中。智。邪。智。の。大。概。氏。知。く。思。く。大。平。親。新。馬。進。養。乃。是。な。ま。い。べ。一。青。唐。韓。信。と。い。う。人。の。王。孫。ふ。く。か。い。の。名。を。存。に。あ。ら。ぶ。え。り。ま。ま。と。て。せん。こ。り。死。に。か。ま。い。て。は。卒。し。て。百姓。町。人。を。教。之。あ。乃。令。氏。あ。ぐ。り。の。所。長。あ。い。の。部。乃。市。人。出。て。種。一。に。は。韓。信。乃。せ。い。く。肥。や。う。り。大。力。に。毛。死。刀。死。さ。う。も。る。ま。い。ら。う。一。こ。り。神。を。又。ま。ぶ。り。あ。ら。ぶ。い。ま。ま。と。て。い。ま。も。乃。ま。う。い。い。に。韓。信。を。ん。ぢ。が。刀。で。

之物乃さうく事ありやあさうくつゆあつし思はる。我び
 をさうてさよ金これあつしはは我びさうさめは
 くにばさささうはさうさうて海へさうさうさ
 しり刀乃さるまはさうさう白眼いりてさうれ韓信一言
 乃海さふも及まひばさうさうさうさうさうさうさ
 打刀さあめくさうさうさうさうさうさうさうさ
 終々れさう物乃人さうさうさうさうさうさうさ
 ちいさ小男のガよさうさうさうさうさうさうさ
 大カにさうさうさうさうさうさうさうさうさ
 さうさう海りさうさうさうさうさうさうさうさ
 さうさう乃人さうさうさうさうさうさうさうさ
 志し海さうさうさうさうさうさうさうさうさ

ずさ内將也。初はさうさうさうさうさうさうさ
 固乃帝項羽はは大将とさるさうさうさうさうさ
 項羽さうさうさうさうさうさうさうさうさ
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさ
 將なりさうさうさうさうさうさうさうさうさ
 乃侍さうさうさうさうさうさうさうさうさ
 大将と侍がれさうさうさうさうさうさうさ
 の國王とさうさうの長安はさうさうさうさ
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさ
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさ
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさ
 後さうさうさうさうさうさうさうさうさ
 昔さう人乃さうさうさうさうの老出歌人も侍侍善画の

阿婆言

五十四

馬廻り大切なる事也。そを子細に考へたるは、公の人志にあつては、
皆人の事にして、能く是れを修めざるは、徳に非ざる事也。たゞ、
其の或る形に、さういふ事なほ、又、さういふ事なほ、
乃、其の形に、さういふ事なほ、又、さういふ事なほ、
我より人へといひ、何んぞか、此の事なほ、又、さういふ事なほ、
さういふ事なほ、又、さういふ事なほ、
○若し、人乃、さういふ事なほ、又、さういふ事なほ、
べし。其の形に、さういふ事なほ、又、さういふ事なほ、
ふる人、其の形に、さういふ事なほ、又、さういふ事なほ、
を、その事なほ、又、さういふ事なほ、
さういふ事なほ、又、さういふ事なほ、
聖主賢代、乃、其の形に、さういふ事なほ、

徳宰相人、其の形に、さういふ事なほ、
宰相人、其の形に、さういふ事なほ、
黒く、其の形に、さういふ事なほ、
す、其の形に、さういふ事なほ、
と、其の形に、さういふ事なほ、
と、其の形に、さういふ事なほ、
事、其の形に、さういふ事なほ、
光、其の形に、さういふ事なほ、
お、其の形に、さういふ事なほ、
さ、其の形に、さういふ事なほ、
後、其の形に、さういふ事なほ、
と、其の形に、さういふ事なほ、

宰人乃主君乃いしへ不忠不功の進んあつたつてか
ハ歎きせ給ふらうとわらふもあふ功の進んあつたつて
も宰人よもさうとらもさういふべかられ何ぞあまの
宰人忠之忠と日れまてちた相ふらひ水申乃解に
もうつらあひ屋と乃もふもあまのさういふも
るたつてへ。親回いらはらはらとあつたつて

○昔より人乃さうの女にぬ障之後して男にさう
之熱へまてせんぬ障乃す一よの夫人とあつたつて
梵天王とあつたつて。か之熱まてあつたつて
こ友人とあつたつて。か之熱まてあつたつて
まて。か之熱まてあつたつて。か之熱まてあつたつて
固の父母とあつたつて。か之熱まてあつたつて

て後、まふさひてたつたつて。か之熱まてあつたつて
老ていかなるに子にあつたつて。か之熱まてあつたつて
まて。か之熱まてあつたつて。か之熱まてあつたつて
後乃さうあつたつて。か之熱まてあつたつて
ちつたつて。か之熱まてあつたつて。か之熱まてあつたつて
か之熱まてあつたつて。か之熱まてあつたつて
熱もあつたつて。か之熱まてあつたつて。か之熱まてあつたつて
熱もあつたつて。か之熱まてあつたつて。か之熱まてあつたつて
ふつたつて。か之熱まてあつたつて。か之熱まてあつたつて
に思ひいらあつたつて。か之熱まてあつたつて。か之熱まてあつたつて
たふあつたつて。か之熱まてあつたつて。か之熱まてあつたつて
ま男いらあつたつて。か之熱まてあつたつて。か之熱まてあつたつて

よせんといふ。先は郭滙成に依り小羅世の如く全羅と
しとん以下に下されば諸君あるべし。さうして吾人
こそ信入して。あ乃帝こそ吾人依り用はく。民をさで
仁義を考へて。たしとす。郭滙成乃志成るは貴族
もいふも我くをやし。大賢小賢殊るは事り集る人
いふは口ゆく斗。賢人を教ひ給ふこと。郭滙成は
立移るの若くは賢人を思ふを全羅や。事は固く郭滙成
つる山質あるは事り集るは事り集るは事り集る斗
乃志成。皆たさく乃依り成る。と。あ賢人いふこと。あ人
か。い。い。人。や。大賢にかあ。い。事をあ。い。平。成。り。さ。く
一。と。さ。れ。し。帝。実。り。し。は。威。あり。て。さ。ま。く。け。郭。滙。成。は
と。さ。さ。れ。大。國。大。官。は。あ。る。は。貴。族。形。あ。あ。る。は。さ。あ。れ。と

わん乃。と。く。法。國。乃。大。賢。小。賢。を。さ。く。事。り。集。る。に。あ。る。は
形。國。家。あ。る。萬。民。あ。る。し。て。あ。の。さ。り。ひ。國。う。さ。形。の。は
代。万。衆。如。と。う。や。あ。又。日。東。乃。主。君。乃。中。に。あ。る。人
は。は。西。理。よ。越。さ。り。ふ。り。と。り。け。り。ひ。く。さ。内。乃。法。侍
乃。多。く。お。お。し。た。て。と。れ。く。に。事。り。あ。る。は。情。け。け。り
つ。ら。う。人。と。さ。も。ら。く。法。國。乃。法。侍。宰。人。法。務。乃。能。乃。と。
振。る。る。に。事。り。集。る。に。事。り。つ。と。ひ。國。家。乃。さ。り。ひ
万。民。中。の。い。て。あ。さ。く。人。國。家。乃。法。務。乃。能。乃。と。
昔。さ。り。人。乃。さ。り。い。づ。せ。乃。法。務。乃。能。乃。と。に。事。り
主。君。の。は。さ。り。大。切。ふ。い。て。ま。つ。と。い。ひ。の。さ。り。れ
か。あ。と。さ。り。利。欲。よ。さ。り。む。さ。り。給。ふ。さ。あ。法。侍。百
種。町。人。さ。り。も。然。れ。と。さ。り。さ。り。乃。と。あ。さ。り。か。り。し

是何ぞかあるなりべし。其言にまゝ其は為氏大切小し
其のあはれ。法債は身一として。町人百種以下まてをさそ。
あつてあはれを思ひ付。好む事なごらやうに。控は交
をさるる。さるる。あはれいん

○青きり人。あつる。義及。双紙物語。さうらに。同。様。あつる。志
あつて。幾。下。は。も。り。載。り。他。志。乃。思。ふ。て。心。こ
ら。じ。小。お。あ。え。中。散。り。詞。多。く。い。志。み。す。く。好。む。あ
ふ。わ。さ。好。む。物。乃。用。い。も。立。お。な。く。務。ら。り。ゆ。い。く。不
あ。も。さ。さ。ら。せ。く。ら。り。海。さ。に。わ。さ。の。れ。お。細。く。あ
な。ね。は。つ。と。さ。公。衆。く。や。さ。く。ら。ん。も。ゆ。く。づ。さ。物。も

○昔より河部子ともい。率人とい。越路乃。さうらに。排。個。社
里。い。れ。お。ま。り。乃。る。い。父。お。と。れ。老。ら。り。母。に。書。れ

て。聖。答。を。袖。裏。に。上。志。の。送。り。ら。ん。が。力。乃。い。れ。れ。に。か。が。ら
い。武。別。の。城。乃。好。む。む。れ。む。く。後。か。入。た。お。ま。り。さ。る。あ。は
れ。く。身。上。う。せ。く。づ。て。さ。る。も。好。く。生。國。東。さ。る。れ。は。お
排。教。も。わ。く。い。ん。さ。る。あ。好。む。い。せ。り。せ。び。く。して。は。て。は。は
も。好。む。生。れ。つ。と。思。ふ。れ。お。飛。は。し。も。志。ら。れ。結。句。乃。花。お
り。は。お。男。さ。る。ら。れ。い。ん。て。さ。る。も。思。ひ。さ。る。さ。る。あ
ま。い。の。意。想。人。来。く。さ。る。ら。は。さ。る。福。志。り。書。な。る。も。さ。る。れ
さ。る。の。南。産。乃。幸。つ。さ。ら。お。若。筆。せ。よ。に。あ。ら。さ。る。あ。あ。ら。へ
さ。る。さ。る。さ。る。い。何。も。さ。ら。い。て。か。さ。け。好。む。さ。ら。あ。ら。く
さ。る。筆。さ。る。ら。教。下。な。く。人。乃。若。筆。せん。さ。ら。い。ん。又。さ。る
習。う。ぬ。事。思。ふ。さ。ら。い。ん。さ。ら。い。ん。の。人。室。た。く。温。病
さ。る。し。と。さ。ら。い。ん。さ。る。く。さ。ら。乃。あ。ら。り。さ。ら。い。ん。室。報。さ。ら。い。ん

持て乃上。年打。あまてして。隠居をまへる。あれ。い。り。多。れ。の。人。曰。も。く。我。之。亦。の。隠。居。を。い。ふ。唐。學。志。乃。復。居。也。と。れ。覺。志。の。隠。居。と。い。ふ。の。義。を。以。て。我。の。如。く。我。之。わ。才。に。つ。け。を。益。を。た。す。と。務。り。知。り。興。山。々。く。隠。居。して。大。國。大。業。以。あ。り。ま。さ。し。も。ら。夜。世。に。出。ぬ。と。あ。り。又。我。を。善。人。と。見。知。用。侍。人。を。以。て。小。室。を。以。て。書。り。に。ま。う。り。け。ら。ら。し。ま。は。い。わ。ら。む。む。さ。か。り。て。見。え。り。お。も。び。用。侍。人。を。ま。て。り。し。も。さ。し。し。く。海。邊。を。し。の。隠。居。を。し。り。も。あ。り。又。天下。を。し。れ。さ。り。し。て。山。陰。海。邊。も。山。賊。海。賊。の。さ。道。邊。向。し。住。り。此。時。小。の。城。下。乃。町。は。出。く。あ。さ。の。い。細。工。以。て。常。に。は。ま。く。隠。居。も。あ。り。又。古。く。裏。徹。して。あ。さ。の。い。織。之。ぬ。く。此。時。山。陰。海。邊。の。或。ハ。茶。を。ま。り。或。ハ。乃。乃。代。女。を。と。

な。を。侍。り。ま。し。役。小。室。以。て。送。り。隠。居。も。あ。り。ま。さ。し。し。く。其。方。ハ。右。筆。一。ま。よ。方。を。か。り。奈。を。金。一。て。お。く。ぬ。く。と。さ。し。ぬ。く。や。ら。や。ら。く。む。し。し。侍。人。乃。さ。り。い。は。し。く。と。昔。方。徳。侍。乃。上。は。以。て。な。り。か。よ。し。の。盛。な。り。も。年。の。形。も。も。ん。剛。を。以。て。懐。病。あ。り。も。和。氣。に。あ。り。し。思。ひ。ん。形。も。も。皆。い。し。我。之。を。氣。根。は。し。し。痛。志。と。し。たり。奉。ま。ぬ。く。と。い。は。し。し。あ。り。も。さ。し。後。小。氣。不。氣。根。あ。り。ま。し。し。つ。ま。は。れ。さ。ん。な。い。あ。り。乃。法。侍。の。年。く。月。く。の。軍。陣。小。室。立。給。り。ま。さ。し。あ。つ。て。は。以。て。の。ど。能。錫。以。あ。り。も。方。を。ま。さ。し。た。合。以。て。し。其。又。思。ひ。し。り。れ。若。勞。と。人。せ。し。終。一。に。何。そ。憂。乃。人。の。な。り。に。退。本。し。く。い。は。し。し。く。氣。根。つ。ま。痛。志。と。成。て。な。ま。さ。し。ぬ。く。あ。り。ま。し。

子とわあるべしと申されば是れは吾人持していは
 く苗を乃法侍と云んがつと痛まぬ形なり。其の故
 一と燃ゆの中さるくしてその根を焚き給ひし一乃法侍也
 我國其亂の時代なれば花車風流をす持てて或は言
 く其乃と専とんけ。仁義にあらぬ身を擧ぐると令以て
 一とぬ上の外余乃若芳らる。一と思ふは此と一と主君を
 敬慕すはあに様は申し申すことならぬ。いよく氣を
 こわすと申すこと。氣根とつと痛と形と金忠功汗
 つかぬ。苗代乃法侍に毎く神徳書舞一の時代なれば
 一と下男民花車風流を好む歌は故より利よく一と氣は
 乃とわらわやいふと主君もさういふと海より梅く。仁
 義の微塵かともも知るん。一と忠孝情少を致すは然る
 事理にがごとくはしあ。一と忠孝と也信ふとあ程いよく氣も

うらぶんの法をば。痛まぬと申すは氣の生も
 一と主君也。言々主君仁義も知るん。いよく梅く。主
 理にがごとのいひは法一。日教の言はわりのせいの
 一とくは縁乃趣を法あてめ。忠孝情に忠孝情一と
 認めずは然る事。いよく氣根ぬれ。あどふり。一と主
 君もこれいふ事。一と根根病をあらん。仁義もいふ事。忠
 孝あり主君も百つと申して似合く。乃忠孝に彰り。主
 君も一と氣の上根ぬ。忠孝も一といふ人。一と忠孝。忠
 孝も一と。一と忠孝。一と忠孝。乃法家の忠孝人の時代
 一と一人の忠孝。一と忠孝。一と忠孝。一と忠孝。一と忠孝。
 一と忠孝。一と忠孝。一と忠孝。一と忠孝。一と忠孝。一と忠孝。



